



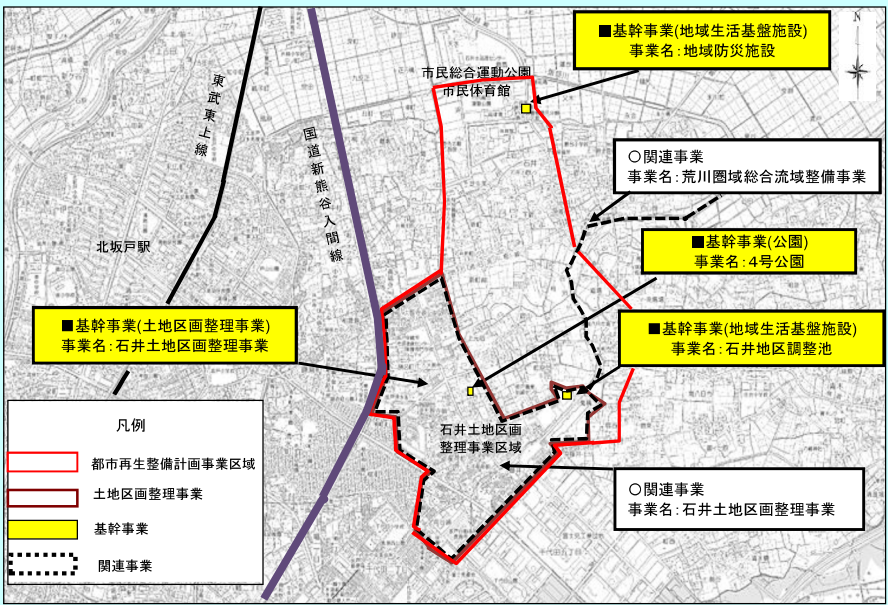


【社会資本総合整備計画】
都市再生整備計画 事後評価シート

石井地区

平成29年2月

埼玉県坂戸市

様式2-2 地区の概要

石井地区(埼玉県坂戸市) 都市再生整備計画事業の成果概要					
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標 人々が快適に安心して安全に暮らせる災害に強いまちづくりの形成 目標1 市街地整備により、良好な居住空間と利便性の向上 目標2 災害に強い安心して暮らせるまちづくりを推進	狭隘道路の打開(防災対策)	単位:%	78.6 H22	90.7 H27	90.7 H28
	災害用の備蓄品の整備	単位:%	6.2 H22	100 H27	25.1 H28
	駅までのアクセスの向上	単位:分	20 H22	15 H27	15 H28
		単位:			
		単位:			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;"> <p>石井土地区画整理事業(基幹:土地区画整理事業)</p>  <p>石井調整池(基幹:地域生活基盤施設)</p>  </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  <p>凡例 都市再生整備計画事業区域 土地区画整理事業 基幹事業 関連事業</p> </div> <div style="width: 25%;"> <p>地域生活基盤施設(基幹:地域防災施設)</p>  <p>4号公園(基幹:公園)</p>  </div> </div>					
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業を進めることにより、道路、公共下水道などの都市機能を備えた基盤施設が整備され、狭隘道路が改善されるなど快適で安心して暮らせるまちづくりが推進された。 				
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 今後も土地区画整理事業を進め、狭隘道路の解消など防災面での向上を図り、さらに良好な市街地形成に努めていく。 目標数量の達成に向けて引き続き災害用備蓄品の整備を行っていく。 区域内の公共施設については、「改定 坂戸市建築物耐震促進計画」に基づき、耐震化を促進していく。 				

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(市街地整備により、良好な居住空間と利便性の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路・公共下水道・公園などの公共施設の整備改善を行い、健全かつ良好な住宅市街地の形成を図るため、土地区画整理事業を推進する。 	<p>方針に合致する主要な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業(基幹事業) 4号公園(基幹事業) 土地区画整理事業(関連事業)
<p>整備方針1(災害に強い安心して暮らせるまちづくりを推進する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4mに満たない狭隘道路を解消し、災害時における緊急車両の進入路及び市民の避難経路の確保を行う。 ・市民総合運動公園は緊急援助隊集結場所に指定されており、また、隣接にある公民館は災害時において地域防災拠点として開設することとなっているため、より一層の防災力向上を図るため防災備蓄倉庫を地区内に設置し、災害用備蓄品を整備することにより、水害応急対策をはじめとする災害時における被害状況等の情報収集・提供場所として、市民の安全・安心が確保できる環境とする。 ・近年において頻発する、ゲリラ豪雨等による浸水被害の軽減を図るための調整池整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業(基幹事業) 地域生活基盤施設(基幹事業) 石井地区調整池(基幹事業) 土地区画整理事業(関連事業) 荒川圏域総合流域防災事業(関連事業)
<p>その他</p> <p>○事業終了後の継続的なまちづくり活動</p> <p>当地区においては、自主防災組織が結成されていないことから、自主防災組織結成に向け継続的に説明会等を実施し、結成を促進する。結成後は、活動に対する支援も実施し、安全・安心なまちづくりをより一層推進する。</p>	

石井地区(埼玉県坂戸市) 整備方針概要図

目標	大目標 公共施設の重点整備と市民活動の活性化により、快適に安心して暮らせる災害に強いまちづくりの形成	代表的な指標	狭隘道路の打開 (%)	78.6 (22年度)	→	90.7 (27年度)
			災害用の備蓄品の整備 (%)	6.2 (22年度)	→	100 (27年度)
			駅までのアクセスの向上 (分)	20 (22年度)	→	15 (27年度)

